

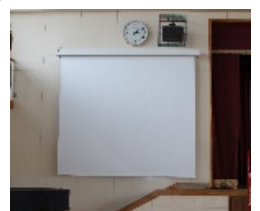
# 令和三年度 学校通信 根石だより

令和四年三月九日

岡崎市立根石小学校



3月号



社会教育委員会様より、体育館の大型スクリーンとプロジェクターを寄贈していただきました。早速、卒業式などで活用させていただきます。ありがとうございます。

## 本当のソーシャル・ディスタンス

校長 小野 隆義

オミクロン株といった新種が現れ、なかなか新型コロナウイルスの感染が落ち着きません。年明けからは市内でも感染者が百名を超え、休校や学級閉鎖が相次いでいます。本校では、授業参観やふれあいフェスタ、観劇会が中止となりました。子供たちがとても楽しみにしていた行事だけに、残念でなりません。一日も早く、感染が収まることを願うばかりです。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、様々な対応の提言がなされました。例えば、「三密を避ける」とか、「咳エチケットと手洗いの徹底を図る」といったものです。そのような中で、「ソーシャル・ディスタンスを保ちましょう」ということが盛んに言われました。この言葉を直訳すると、「社会的距離」となります。自分だけでなく、他の人への感染を防ぐため、さらには日本全体の感染拡大を防ぐために、人と人との距離をしっかりと空けて、接触をしないようにしましょう、というのが、このソーシャル・ディスタンスの考えです。学校では、トイレの入口や流しに線が引いてあります。街に出てみても、お店やスーパーのレジ付近には1mから2mぐらい、人と人との間隔が空けられるような工夫がされています。これ自体は、感染防止のために必要なことで、これからしばらくは続くといかなくてはなりません。しかし、「ソーシャル・ディスタンス」とは、あくまでも「人と人との単なる距離

を保つ」ということであり、決して人と人とのつながりをなくすことではないと思います。

新型コロナウイルス感染症という病気への感染は、誰も望んでいませんし、怖いという感情もあります。しかし、感染を恐れるあまりに、必要以上に他人とのかかわりを拒んだり、感染しているのではと疑いの目を周りの人に向けたらするというニュースを見ることがあります。そのニュースを見て、とても悲しく、辛い気持ちになりました。その時に思ったことが、『本当のソーシャル・ディスタンスを大切にすることです。感染防止のためには、人と人との実際の距離、物理的な距離（フィジカル・ディスタンス）という言い方も耳にしますが、それを保ちつつも、心の距離までも離れていってはいけないと思います。人を思いやる気持ちや感染に関する差別や偏見などをしないという優しい気持ちまでなくしてはいけません。

AIをはじめ、科学技術が発達するこれからの社会は、もしかしたらロボットやコンピュータなど機械が何でもやってしまう世の中になるかもしれません。だからこそ、ますます人と人とのかかわりが重要になってきます。人の温かさを感じるような「心の距離」それこそが、本当のソーシャル・ディスタンスだと思います。自分と同じように人を大事にする、そんな温かい気持ちでつながっている「本当のソーシャル・ディスタンス」を大切にしたいものです。

# 2月の根石っ子あれこれ

## 授業風景より

まだまだ感染症への対応で活動の制限がありますが、子供たちは元気に授業に取り組んでいます。



いつも根石っ子を見守ってくださっている地域の方々に感謝する会を催しました。

## 児童感謝の会



※新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、様々なご協力をいただきありがとうございます。今後も小学校では、感染防止に努めてまいります。感染状況によって行事等の変更、中止があります。ご理解をお願いいたします。

# 根石つ子の生活

かぜとあそんだよ

一年松組 関塚 彩笑

わたしは、生かつか「かぜとなかよし」のペンきょうで、かざぐるまやたこをつくってあそびました。たこあげをするのははじめてでしたが、じょうずにあがってうれしかったです。かぜとあそぶのは、たのしかったです。

ハクモクレンの花、たのしみだな

一年梅組 藤原 雅充

生かつかのペンきょうのはる見つけで、中にわにあるハクモクレンをかんさつしました。つぼみはミサイルのように、おもしろいかたちです。けが生えてふわふわしていました。どんな花がさくのか、とてもたのしみです。

算数は楽しいな

二年松組 石井 結大

ぼくが、三学期でがんばったじゆぎょうは、算数の「はこの形」です。ほこには、正方形や長方形の面があることが分かりました。面や辺やちよう点の数もしらべ

て分かりました。竹ひごとねん土玉をつかってはこが作れたときは、うれしかったです。まちがえるときもいっぱいあったけど、とても楽しかったです。

ぼくは、算数が大好きです。つぎのペン強もがんばります。

三学期で一番がんばった教科

二年竹組 水野希春

わたしは三学期に一番がんばったのは、図画工作の学しゅうです。「まどからこんにちは」ではじめてカッターで紙を切って、たてものにまどをあけました。丸い形を切ることがおもしろかったです。

二年竹組のなか間ともうすぐおわかれなので、楽しい学校のよすを思いうかべて作ひんを作りました。友だちや先生、さくらの花をかきました。すてきな作ひんができてよかったです。

ツリーハウスを作ったよ

三年松組 八田 響介

三学期は、はじめて図工の時間にのこぎりを使いました。さいしよはうまく木が切れるかなと、きんちようしました。だんだんとうまく切れるようになり、いろいろな形の木を組み合わせて、ツリー

ハウスを作りました。高くつむだけではなく、かざりもつけてかっこいい作品がかんせいしました。とても楽しかったので、また木で何かを作ってみたいです。

ハードル走のじゆ業で学んだこと

三年雪組 野澤 葵

私がハードル走のじゆ業で学んだことは、テンポよくハードル間を走ることです。ハードルを速くとびこえるために、ハードル間を三歩のリズムで走ると上手くできることを知り、レースの中でやってみました。すると、二位ばかりだったのに、一位をとることもできるようになりました。とてもうれしかったです。ハードル走のじゆ業を終えて、少し走るのが好きになりました。

声かけ隊さんありがとう

四年竹組 河合 美夕子

わたしは、声かけ隊を作ったおじいちゃんに、どういいう思いで作ったのか聞きました。

以前、子どもがゆうかいされたニュースを見て、根石の子どもが不しん者にゆうかいされては大変だと思い、PTAと総代会が協力して根石の子どもを守る「根石声かけ隊」を作ったそうです。わ

たしは、一人で遅い時間に出歩いたり、一人だけではなれて登下校したりすることに、気を付けようと思いました。そして、いつもわたしたちを見守ってくれている、声かけ隊の方々に「ありがとう」と感しやの気持ちをわすれず、にすごしたいと思います。

心に残った理科のじゆ業

四年梅組 塩谷 咲月

私は、三学期の理科の授業が心に残っています。最近感せんしよう予防のため、実験がなかなかできませんでしたが、先生が一人一つずつ用意してくださった実験器具を使って、水の温まり方の実験をすることができました。実際に実験をすると結果がよく分かるし、理科は楽しいと感じることができました。四月から五年生になります。これからもどんな実験ができるかととても楽しみです。

学校大好き

四年月組 木村 清孝

学校に行くって、楽しいことなんだ。ぼくは、気がつきました。学校に行ったら、友だちに会えます。いっしょに遊べます。工作もたくさんできます。給食もおいしく食べられます。そうじも楽しい



です。池の中をそうじすると、氷にさわったり、ヤゴをつかまえたりにすることが出来ます。お休みすると、学校に行きたくてたまらなくなりますが、学校での生活が全部大すぎです。五年生になっても、まい日学校に行きます。

### 六年生との思い出

五年竹組 小山 葵衣

私にとっての一番の思い出は、部活動でバスケットボールを教えてもらったことです。私は四年生で初めてバスケットを始めました。ドリブルやシュートが出来なくて困っていたときに、先ばいが声をかけてくれました。「シュートはこうやってやるんだよ」と優しく教えてくれました。そのおかげでバスケットが少しずつできるようになりました。あときは、とてもうれしかったです。私も困っている子がいたら、声をかけていこうと思います。

### 気持ち良くて好きなもの

五年梅組 中 葵生

私が二年生の時まで、見守り隊をやってくれていたおじいさんがいました。そのおじいさんは、私が三年生の時に見守り隊をやめました。下校の時も見守り隊の

帽子をかぶって待っていてくれたので「もう見かけることはないのかな」と、少し悲しくなりました。でも、そのおじいさんは、今でも帰る時間に合わせて、犬の散歩をしながら私たちを見守ってくれています。通りかかると、「おかえり」と声をかけてくれます。私は、そのおじいさんのことが大好きです。そして、見守り隊の人に限らず、地域の人のあいさつは、とても気持ちが良いです。地域のたくさんの方のおかげで安全に登校できていることを「感謝の会」で改めて実感しました。

### 僕たちを支えてくださった皆さんへ

六年松組 三田 依槻

「今日もがんばってね。」毎朝、そう言葉かけをしてくれた旗当番のお父さん、お母さん、交通安全協会根石分会の方々、交通安全員の皆さんのおかげで、毎日、安全に、気持ちよく登下校することができました。

僕たちが安心して過ごせるように気を配ってくくださった、とても110番の皆さん。学校生活をより快適に、安全に過ごせるようスクリーン、大型ストープ、加湿器など学校の備品を贈っていただいた市川悦雄様、石原明夫様、

伊藤孝様、根石学区社教の皆さん。体育学習発表会やマラソン大会などの行事をはじめ、学校生活をサポートしてください。PTAの皆さん。六年間をふり返ると、たくさんの方々に支えられてきたことを感じます。これまで本当にありがとうございました。

### 思い出に残る半年間

六年梅組 柴田 奈那

わたしは、二学期に転校してきました。最初は緊張していたけれど、学級の仲間が分からないことを教えてくれたり、休み時間に遊びにさそってくれたりして、すぐにクラスにとけこむことができました。今では、毎日楽しく学校に通っています。

修学旅行では、友達とのきずなが深まりました。旅館では、ふだん話さない友達と話したり、清水坂で班の友達とアイスを食べたりましたことがとても心に残っています。

卒業まで残りわずかです。六梅のみんなともっと仲良くなり、楽しい思い出をいっぱいつくり、中学校に進んでいきたいです。



## 行事予定

- 2 (水) 通学団会
- 3 (木) 朝会 一斉下校
- 4 (金) 大掃除
- 7 (月) 委員会
- 9 (水) 卒業を祝う会
- 10 (木) 一斉下校

- 14 (月) クラブ (臨時)
- 17 (木) 卒業式準備 学年下校
- 18 (金) お別れ式 学年下校 (1~5年)  
第75回卒業証書授与式
- 23 (水) 給食終了
- 24 (木) 修了式 一斉下校 (10:45)

※令和4年度の始業式、入学式は、  
4月6日(水)の予定です。